雪やってくる

—みんなでやろう雪害排除

冬の交通事故防止運動実施中

気のゆるみから—

悪夢の事故へ

冬の道路は危険

ドライバーのみなさん、安全運転を励行していますか。これからの時期は、積雪や凍結などで道路条件は一段と悪くなります。加えて年末、年始をひかえ、飲酒の機会も多くなります。スピードを出しすぎた〝スリップ事故〟。過労や飲酒がもとで、注意心を欠く〝追突、衝突事故〟——と、冬の道路は危険がいっぱいはらんでいます。

県と市では、気のゆるみがちなこの期間に合わせ「冬の交通事故防止運動」を、県民こぞっての運動として明春一月十日まで展開しています。

車の運転者も歩行者も、この冬期間は「交通事故の起きやすいとき」——と頭において、お互いに交通の安全を守ってください。

それに例年、年末が近づくと、歩行者も年末特有のあわただしさから、とかく不注意な横断などをしがちで、交通事故の起こる危険性も増大します。

冬期予報

低温・大雪の恐れ

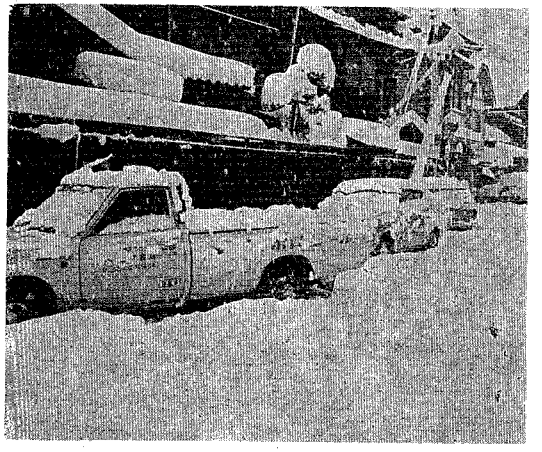
朝晩の冷えこみが強くなることしもとうとう「冬将軍」の到来。

現にことしは、例年よりも早く雪と寒さがやってきました。寒さは、さほど苦になりませんが、雪の害だけはどうすることもできません。降雪のために交通が渋滞、あるいはストップ、電灯や電話の引き込み線が切れたりの事故もままなりません。そればかりか、こんな状態の中で火災でも発生したら、それこそ大変です。気象台の予報でも、ことしの冬は低温・大雪の恐れが——と報じています。

このため市では、去る六日に〝防災〟に関係するみなさんから集まってもらい、この冬予想される雪害や、道路交通の混乱、それに除雪計画などもあわせて万全な態勢で望むことなどを協議、申し合わせを行ないました。

例年より早めに来た雪と寒さは、十二月も続き、低温・大雪となるおそれがありますが、一月と二月は寒暖の変化が大きく、しのぎやすい期間もある見込みです。（新潟地方気象台十一月二十日発表）

市民のみなさんからも積雪時には雪害の混乱を防ぐため



夜間での路上駐車があると除雪車が運行できません—ご協力を

除雪車出動

車があると

できない除雪

路上駐車は絶対やめて…

道路の除雪は、積雪が三十センチくらいになると、交通量の少ない夜間ないしは早朝をみはからって作業を始めます。県道は県で、市道は市が行なうことになりますが、道路の重要性、交通量などを考えながら、あらかじめ決められた除雪計画によって行なわれるものです。

ですが、除雪車が運行をはじめても、路上に自動車が放置してあったりすると、せっかくの除雪もできません。除雪車の除雪板は、小さいものでも三メートルの幅があります。

ドライバーのみなさん、夜間での路上駐車（青空駐車）はぜったいにしないよう、とくにご協力ください。

のご協力をとくにお願いいたします。

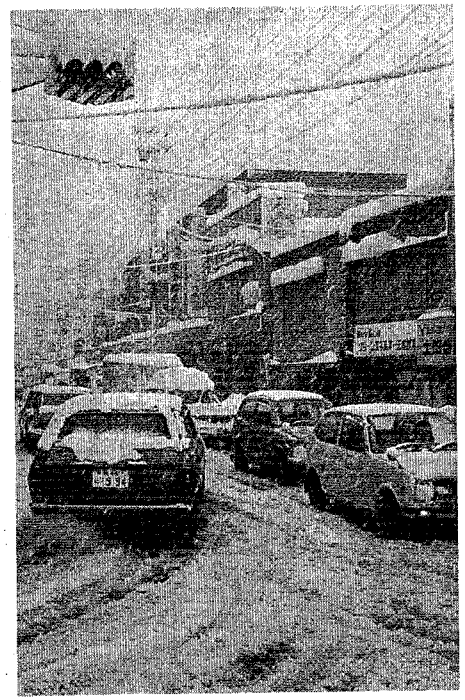
●テレホンガイド誕生

●ビッグストア情報……2—6910
●越後の民話……2—6911
●ヤングの情報……2—6912
●味の散歩道……2—6913
●くらしの情報……2—6914
●レディス情報……2—6915
●ハウジング情報……2—6916
●ミュージック情報……2—6917
●あなたの運勢(A)……2—6918
●あなたの運勢(B)……2—6919

心をつなぐ 新津電報電話局

防雪対

—今冬は大雪予報—



7日に降った雪で市街地は車の列がつづきました

雪の捨て場

決めました

雪が多くなると、雪の捨て場に困ります。その場しのぎに側こうや水路などに捨てたりすると、流水の障害となって、水があふれるなどの災害原因にもなりかねません。

市では、雪積時の雪の捨て場所を、次の四か所に定めました。励行してください。

○…能代川の下興野橋
○…北上地内の堤外地
○…能代川の山先橋ぎわ
○…大通川の川根橋

（場所は立て札で標示）

雪おろし

危ない電線

みんなで一斉に……

市街地や人家の密集している地区での屋根の雪おろしは、みんなで一斉に行なうなどの方法をとって、交通の障害とならないよう心がけてください。また、電灯や電話の引き込み線にも十分気をつけてください。

電線が切れていたのを知らないで起こる感電事故もままあるものです。事故を発見したら、すぐ電力会社や電話局へ届け出ましょう。

〝除雪はいつも〟

ガス・水道・消火栓

換気、ガスもれに気をつけよう

ガス、水道、消火栓などがある付近は、常に除雪をして

火の用心

火災はこわい—

ことしはすでに

四十四件も

市内のことしになってからの火災件数は、四十四件もありました。そして、その損害額は六千万円にものぼりました。これらは、火気の取扱いの不注意や不始末からの失火によって発生しています。火災を起こさないための最も大切なことは、火気を扱う一人ひとりの注意心、心がまえにあることを示しています。

これからは、寒気もきびしくなれば火気を扱う機会が多くなります。万一、異常な積雪時に火災でもなれば、消火機能も半減して、大きな災害を招く恐れもでてきます。

そこで、火災を追放するための「予防心得十則」を載せました。お互いに十分気をくばって、いつも明るい明日を迎えてください。

①…火の使い忘れは大変
②…飲酒したときは寝床での禁煙を励行しよう
③…ガスもれに気をつけよう
④…器具のむちゃな扱いはやめよう——故障のもと
⑤…引火性のものをストーブといっしょに使わない
⑥…燃料の性質を心得よう
⑦…完全燃焼していますか
⑧…燃えやすい物の整理整とんに気をつけよう
⑨…外室する時は、室内をひと通り点検しよう
⑩…異常は早く見つけよう

鉄管や排気筒などをこわさないよう注意しましょう。

なお、洗たく機など家庭電機製品のアースを、ガス管などに結びつけておくのをよく見かけます。万一ガスもれでスパークでもしたら、それこそ大変です。室内の換気をよくとることもあわせて、十分に気をくばりたいものです。

表具 鈴木 つしま
一級技能士 調神指導員 法定防火壁装工事店 建設業登録店
本町3☎2-2035

"美しい私への出発"
花椿会へどうぞ
資生堂チェインストア
本町2丁目 マツヤ TEL(2)0418
北越銀行が隣り、第四銀行が向い。